

平成19年度学校自己評価表

長野県箕輪工業高等学校

学校教育目標

1. 自然や社会についての正しい知識を身につけ、これを基礎に生産・生活に対する専門的な知識や技術の基本を身につける。
2. 未来に目標を持ち、これに向かって希望と信念をもって誠心誠意努力できる生活態度を身につける。
3. 自分たちの問題を自分たちで解決できる自主自律の態度・能力を身につける。

重点目標

基本的な生活習慣の確立と基礎学力の充実を図り、個性を伸ばすことのできる、地域に信頼され、活力にあふれた魅力ある学校づくりをめざす。

評価基準

- A：目標を達成することができた
 B：おおむね目標を達成することができた
 C：目標達成にやや不十分であった
 D：目標達成が不十分であった

平成19年度の重点目標(全日制)

評価項目	評価	成果と課題
自ら学ぶ意欲を育て、高校生としての学力を身につける。 ・校内研修などを通じて授業の工夫をはかり、より魅力ある授業をおこなう。 ・進路等の具体的な目標を持ち、それに向けて学習習慣を確立する。	B	授業の工夫をはかる研修が実施され、生徒理解をはかる研修が計画されるなどの努力が成されており、生徒の意欲向上もはかられたが、まだ生徒の意識・学力に幅が見られる。今後研修や授業研究等を通じて、進路についても早めに意識を持たせて取り組ませる必要がある。
基本的な生活習慣を身につける。 ・清掃や身の回りの整理整頓等美化活動に取り組み、学習環境を整える。	C	清掃や生徒の自主的な整美活動により成果は見られるが、カンのポイ捨て等も目立ち、いっそうの公共心を涵養する必要も見られる。また、生徒への環境教育も今後の課題である。
学校と家庭・地域間の連携や理解を深め、それを通じての教育活動の充実をはかる。 ・学校の情報が家庭に的確に伝わるよう工夫をはかる。 ・学校行事や学習活動を通じて地域との交流をはかるとともに、学校からの情報発信をおこなう。	B	うえのばやしだよりの発行やPTAの活発な活動により情報発信は行われているが、まだ家庭への伝達法方法については、課題が見られる。また、昨年同様に文化祭等を通じて地域との交流が図られている。

平成19年度の重点目標(定時制)

評価項目	評価	成果と課題
学習への関心を高め、自ら学ぶ意欲を育てる ・出欠を重視し、粘り強く学習・実習に取り組む	B	ドリル学習・授業を通じて、学習へ取り組む姿勢ができています。意欲的に取り組むことができるよう指導していきたい。
基本的な生活習慣を身につけ、勤労の尊さを学ぶ ・誰にでも気持ちの良いあいさつをする	B	多くの生徒が仕事に就き、学校生活と仕事を両立できている。責任を持って行動し取り組むことができるよう指導していきたい。
自主的に活動できる力を養い、学校・家庭・地域間の連携を深める ・生徒会の諸行事を通じて、自主的に活動できる力を養う	A	生徒会行事の運営に多くの生徒が参加できている。文化祭に向けて、自主的に参加できるように支援していきたい。

各分掌の自己目標(全日制)No.1

	対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策
教育活動	学習指導	基礎学力を付けさせる指導	学年・教科で生徒の実態をつかみ、有効な指導が実施できたか。	B	成果 学年ごとに工夫がなされている。また漢字クラスマッチにも真剣に取り組むことが出来た。課題 結果が顕著ではないこと。生徒の学力差にどう対応するか。	個別指導や補習なども必要。生徒同士で教えあうなど、新しい刺激も必要か。
		各種検定にチャレンジさせる指導	受検者数、受検内容は満足できるものであったか。	A	成果 工業の資格に対して、3年普通科生などが、進路に向け意欲的であった。また、生き生きと取り組む姿が見られた。	引き続き呼びかけや、励ましなどを引き続き心がける。
		意欲的に学習に取り組ませる指導	テスト勉強に取り組むなどの生徒の向上心が見られたか。	C	成果 各学年通信にテスト範囲を載せるなど工夫がなされた。各教科でテスト対策プリントなどを配布し、意識づけている。課題 あいかわらずテスト勉強の少ない実態が、授業アンケートから明らかであること。	欲がない(?)生徒に対して、勉強すれば点が取れるという体験をさせたい。
	図書情報	図書館利用の促進	親しみやすく、魅力的な図書館づくりを行えたか。 求められた資料を提供できたか。 読書意欲を高めるような働きかけができたか。		図書館前の掲示板の装飾や図書館だよりの発行を行った。リクエストされた資料は提供することができた。6月に読書旬間を実施した。	図書館利用が増加するよう、さらに働きかけを行う。
		視聴覚教育の促進	視聴覚教室・教材の活用を呼びかけ、利用は増加したか。 芸術鑑賞のスムーズな運営ができ、生徒の満足感は得られたか。		昨年度に比べ、社会科・総合学習等中心に活用率は増加している。 芸術鑑賞後のアンケート結果では5段階評価で4と5の評価はトータル87.7%であった。このことから生徒の満足感が得れたと考えられる。	活用率が増加するように呼び掛ける。 来年度芸術鑑賞の演目は決定している。細部にわたる打ち合わせを事務局を通して実施し、より満足感が得れるような鑑賞会にしていく。
		情報教育の環境整備	教育活動全般に、情報を活用できるような環境を整えられたか。 校内の児湯行(実践や種々の情報・データを蓄積し、必要に応じて公開することができたか。 本校の個人情報保護マニュアルの通り、その管理の徹底を図ることができたか。		教育活動全般に、情報を活用できるような校内LANの環境を維持・管理している。校内の教育実践や種々の情報・データを蓄積し、公開している。本校の個人情報保護マニュアルの通り、その管理の徹底を図るよう検討中である。	新規に本校の個人情報保護マニュアルの通り、教育実践や種々の情報・データのセキュリティが向上するようなシステムが必要。
	特活指導	自主的、建設的な活動の為の支援。	執行部、委員会、クラブ活動において自主的かつ建設的運営の支援ができたか。 箕工祭において、生徒の自主的活動を促し、充実したものにできたか。		執行部の立ち上がりが少しおくれたが、それ以外は相応の支援ができた。	引き続き年度末に向け各活動のサポートを続けていく。文化祭に関しては現在準備中。実行中である。
	整美指導	清掃や身の回りの整理整頓等、美化活動に取り組ませ、学習環境を整える。	校舎内の割当てられた清掃分担区を責任もって清掃できたか。 校舎外の清掃はゴミの散乱等がないように常に心がけることが出来たか。	B	清掃はよくやっているが、その後汚したり、散らかす生徒が一部にいる	モラル向上を折にふれ呼びかける
		ゴミの分別を徹底し減量化をはかる。	校舎内教室内の整理整頓がきちんとできているか。 通学路等の校舎外清掃は、ゴミの散乱がないように常に心がけることができたか。 教室内の整理整頓がきちんとできているか。 月一度の全校大掃除(30分)はしっかり清掃できたか。 ゴミステーションの分別収集、減量化を心がけ、ゴミ処理費用を少なくしていくことができたか。	B	ゴミの分別・減量を心がけているが、リサイクル紙の扱いに工夫が必要である。	ごみ箱の他にリサイクル紙箱の設置を検討する

全日制No.2

	対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策
教育活動	生活指導	・退学者の減少	・退学者の数が減ったか。	B	以前に比べて減っている。 継続して指導中である。	
		・無断遅刻・無断早退・中抜けを「させない」指導	・無断での遅刻・早退数の減少 ・授業を大切にしている意識を持っていたか。	B		
		・頭髪指導。	・髪の色を加工しないという意識が広がったか。	B		
		・通学マナーの指導。	・通学マナーの向上が見られたか。	B		
	進路指導	・生徒の希望する進路をかなえられるよう指導を細やかに行う。	・生徒の希望・能力・適性に応じた進路がかなえられるよう指導援助ができたか。 ・個々の生徒の興味・関心を伸ばし、進路に結び付けていく指導ができたか。		・「すぐ出せ修行」就業体験や企業見学を通して、職業観・勤労観を学ぶことができ、進路選択に役立っている生徒はできた。 ・進学については学年会と協力をし、できる限り生徒の希望を叶えさせるために説明会に参加することができ、生徒へ還元できた。 ・進路計画通りに進むことができています。GATB・SPI2の模擬試験も始めた。	・自分の将来を考えていく中で、何をやっているか現実に自分のこととしてとらえさせたい。 ・進学資料があまりにも膨大なため(無料で送付されてくる資料が大変多い)、整理に時間がかかる。 ・諸検査の結果の検証が必要であるとする。
		・多様な進路に対応できるような情報を幅広く収集し、適切に提供する。	・生徒が情報を得やすいよう進路室を整備できたか、 ・職場・学校などの説明会に参加し、より詳細な情報提供ができたか。 ・適切な進路計画の設定・実施ができたか。(諸検査、進路希望調査、模試、企業見学、保護者懇談会など)			
	人権平和	・生活の中にある差別・偏見に気づき、いじめを許さない人権感覚を育てるとともに、生徒自身が乗り越えていく実践力を付けるよう指導する。	・他者に対する思いやりの意識や自己尊重の意識が育ったか。 ・他者と共同し合い、問題を解決していこうとする力が付いたか。		HR担任を中心に個々の生徒を指導しているが、まだささいなことによるトラブルがみられる。	今後も継続して指導していきたい。 今後も現在の社会状況の中で自分に関わる問題として平和の持つ意味について考えさせたい。
		・戦前・戦後の歴史を正しく理解し、平和の尊さについて考えさせる。	・個々の生徒が平和について意識的に考えることができたか。 ・憲法学習を通じて戦前・戦後の歴史に対する理解が深まったか。 ・個々の生徒が平和について意識的に考えることができたか。			
	保健教育相談	1. 保健管理・指導 ・心身共の健康な生活と疾病予防について理解できる ・性教育・コミュニケーション教育の充実をはかる	・健康診断結果、日々の保健活動等が生徒の生活や学習に行かされているか ・生徒自身が自己を大切に思い、役割と責任について自覚し、将来の生き方について考えが確立されたか。		継続中	
		2. 教育相談活動 ・校内研修・係内情報交換や事例研究会を実施し、活動の充実・推進をはかる ・専門機関と保護者・地域間の連携を深めるための啓発活動に努める。	・研修等を通じ、生徒理解と相談活動が充実したか。 ・専門機関、保護者・地域との連携が成されたか。 ・啓発活動が工夫されてきたか。		継続中	
		3. いじめ・不登校対策 ・生徒の実態を知り対策に努める。	・学年の実態を把握できたか。 ・全校生徒が気持ちよく活動できたか。		継続中	

全日制No.3

	対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策	
教育活動	総合学習1年	生徒が、自分自身を見つめ、道の自分を発見し、よりよい進路選択を実現させるための支援	・自分自身のことを大切に考えたり、自分の進路について考えるきっかけとなったか。 ・人と接する時のマナーやコミュニケーションの力をつけさせることができたか。 ・施設実習や訪問等、異年齢の人たちとの交流をする中で、自分がどのように関わればいいのかを自分で考え行動できるように指導できたか、また、そうした体験等を皆の前でしっかりと指導できるように指導できたか。	B	・外部講師を招き、コミュニケーション能力向上を目的とする授業を行った。すぐに効果が現れるものではないが、コミュニケーションの大切さに気づききっかけとなった。 ・施設実習では、異年齢の人たちと交流を持てた。	・コミュニケーションのための授業が1回しか行えず、意識の定着までいかなかった。もう少し授業を継続して行えば、よりよい効果が得られたのではないかと。 ・まだ自分で考え行動することができていないので、この指導が今後の課題。	
	総合学習3年	・テーマ学習 ・進路対策学習	・自らが選択した課題について、学ぶ方法、ものの見方、考え方を養い、知識や技術を身につけさせる事ができたか。 ・基本的な学力を養い、自らの進路実現へ向けた意識や能力を高められたか。				
	1学年	集中した熱心な授業態度の確立	・授業規律が守れたか。 ・基礎学力は向上したか。		B	できていない生徒が一部にいる	・毎時間改善するよう根気強く声掛けを行う。 ・基礎学力補充テストを毎週実施し、学力向上に努める
		高校生にふさわしい生活習慣の確立	・責任ある生活態度が身についたか。		B	できていない生徒が一部にいる	学年集会を開き、全体に注意を喚起するとともに、家庭の連絡を密にし、改善させるよう努力する。
		集団生活に適応した態度の育成	・集団の中に溶け込み円滑なコミュニケーション、協調性のある行動がとれたか。 ・学校行事、学生会への積極的な参加ができたか。		B	できていない生徒が一部にいる	コミュニケーション能力向上のための取り組みを授業やLHR等に取り入れ、向上に努める
	2学年	基礎学力の定着	・授業規律の確立及び学力向上		B	継続中	引き続き、担任及び教科担任が連携をとって指導にあたる。学力に関しては朝ドリル等を通して指導を行う。
		進路意識の明確化	・進路実現に向けての意識の向上		B	継続中	一部の生徒等は夏休みの就業体験を通して進路に向けて意識がはっきりしてきている。その他の生徒も今後進路ガイダンスなどを通して意識付けをする。
	3学年	進路確定に向けて、自己追求的な姿勢の確立	・自発的な行動を伴う進路活動ができたか。 ・自己実現は「学び」から成る、との認識が定着したか。 ・学校生活・生徒会活動等、模範的な行動が実現されたか。		B	促された結果ではあるが、自発的に進路への関心を持つことができ、日程に沿った行動もとれた。 3年生としての自覚的行動が出来つつある。文化祭へ向けての取り組みも始まっている。	一部無関心な生徒への更なる働きかけ
		3年生としての自覚の確立					
	教育課程	現行教育課程表の検討	・生徒の個性を伸ばす科目選択が設定できたか。			継続中	
環境美化	清掃・整理整頓等美化活動に取り組みせ学習環境を整える。 ・ゴミの分別を徹底し、生徒、職員の意識向上を図り、ごみの減量化及び処理費用の節約に努める。	・校内の清掃分担区の用具の破損、修理補充は効率よくできたか。 ・ごみ分別収集及びごみの減量化や処理費用を減額することができたか。		B	用具の補充はスムーズに行っている。モップ交換量・ごみの量が昨年より増加している。	紙資源の再利用や収集箱の設置を検討する。	

全日制No.4

	対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策
学 校 運 営	厚生	・職員間の親睦を深める。 ・各係・学年・委員会との意思疎通につとめ、円滑に学校の運営をはかる。	・厚生事業が全体のものとして展開されたか。 ・適切な行事運営ができたか。	A	現在のところはできている	
	教務	・開かれた学校を目指し、情報発信につとめる。	・地域の人々に効果的な広報ができたか。 ・保護者に学校の情報が適確に伝わったか。 ・各係等と緊密な意思疎通をはかることができたか。	B	現在努力している	・配布物の曜日が固定できるか検討中
		・充実した公開授業の実施につとめる。	・授業公開が効果的なものとなったか。	A	例年より参加者が増えている	
		・校内の各係と連携して校内職員研修につとめる。	・各係と緊密に連携をしながら効果的な校内研修をおこなうことができたか。	A	授業・生徒の指導等充実した研修ができた。	
	PTA	・開かれた学校を目指し、保護者・生徒・職員が協力してよりよい学校を作るよう推進する。	・PTA役員、理事、各委員会が一体 となって行事を推進する。 ・各委員会を充実させ会員相互の意識の高揚を図る。 ・クラスPTA、学年PTA、地区PTAを開催し、家庭と学校の連携を図る。	B B B	現在鋭意進行中。 各委員会がバージョンアップを図りつつ、進行中。 地区P終了。内容は好評だが、低参加率。役員選出も困難。クラスP進行中。	前年度の申し送りの活用、現役意見の積極的な反映など。 地区P)事後アンケートで調査中。
		・三者協議会を学友会と共に計画・立案し、地域の意見も求める。()	・開かれた学校づくりのため、保護者、生徒・地域の方の意見を反映させる。	B	準備中。	
	高大連携	・有効な事業の設定と展開	・連携の主旨に添った事業展開が実現されたか。	B	・年間計画通りに取り組んでいる。7/30～8/1 4名が日本工業大学で研修を受けた。 ・連携の一環として、マイクロロボットコンテストの技術情報交換も行えて、第1回全国優勝に寄与できた。	
	将来計画準備	・新高校設置にむけて、準備・立ち上げをおこなう。	・広報活動に積極的な取り組みを行う。 ・ワーキンググループ(WG)との連携を深める。	A	・中学校への説明等、広報活動に力を入れていく。 ・入試選抜業務、体験入学及びWG毎の課題解決に向けた取り組みが委員会を越えて、全体の者として展開された。 <small>中学校への説明等</small>	
	学校自己評価	・重点目標の課題を明らかにし周知することにより学校全体の教育力向上をはかる。	・自己評価の意義が十分理解されたか。	A	現在のところ各分掌に協力をいただき、理解が深まってきている。	
		・家庭・生徒へのアンケートや外部の意見をとりまとめることにより課題を明らかにし、各分掌の活動に反映できるよう工夫をはかる。	・アンケートをとりまとめ各分掌に適確に伝えることができたか。	A	アンケート、中間評価等の実務を計画どおりおこなっている。	

各係・委員会の自己目標(定時制) 中間報告

	対象	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策・向上策
教育活動	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 年間授業計画 多部制・単位制 部の教育課程表の仕上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 年間授業計画「学習の手引き」の作成と周知が出来たか 本校の将来像にふさわしい教育課程の編成が出来たか 	B	学習の手引きを作成し、生徒にもおおよその周知をすることが出来た。部の教育課程もほぼ固まってきた。	多部制の教育課程に基づくシラバスの詰めをさらに進めたい
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を身につけさせる指導 個々の能力の開発 各種検定にチャレンジさせる 授業に意欲的に取り組ませる指導 	<ul style="list-style-type: none"> 国語、数学、英語ドリルにしっかり取り組ませることができたか 生徒の興味関心を知り、個々の能力を十分に引き出せたか 各種検定を受けるに当たり、目標を持ち、意欲的に取り組ませることができたか 授業に意欲的に参加させることができたか 	B	ドリル学習については多少の成果が上がっているように思われるが、検定・資格については意欲的に挑戦できる生徒はまだ一部である。個々の能力の開発や授業に意欲的に取り組ませる指導については、係として全体への具体的な提案などはできていない。	生徒が資格や検定に興味をもち積極的に取り組む意欲を喚起するよう指導をしていく。個々の能力の開発や授業に意欲的に取り組ませる指導について提案を考えていく。
	生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活や通学のマナーの指導 時間を守らせる指導 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活のマナーの向上が見られたか 通学マナーの向上が見られたか 無断での欠席、遅刻、早退の数が減ったか 	B	状況を判断し、ふさわしい行動がなかなかとれないているが、上級生になるにつれて徐々に社会性が身についてきている。	仕事、学校での集団生活の中で粘り強く指導していきたい。
	生徒会指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身による、良き学校生活のための生徒会活動の支援と充実 	<ul style="list-style-type: none"> 多数の生徒を活動させることができたか 執行部、委員会、クラブ活動において自主的運営の支援ができたか 箕工祭において、生徒の自主的活動を促し、充実したものにできたか 学校の魅力の一つとなるような生徒会活動ができたか。 	A	新入生歓迎会、PTAスポーツ大会、校内生活体験文発表会など行事を通じ、多くの生徒が運営に参加できた。	文化祭に向け、さらに多くの生徒を活動に参加させたい。自主的に行えるよう支援したい。
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 卒業学年の希望の進路を叶えられるよう指導する 全学年に情報をきめ細かく提供し早期に進路が明確になるよう指導する 	<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者、進学希望者の進路が叶えられたか 進路計画の設定、実施ができたか (希望調査、進路相談、企業見学、説明会、三者懇談会への出席) 	A	7名中5名の進路が叶えられた。2名については現在進行中。夏休みを中心に会社見学は実施できた。	3年、2年にも情報を提供できる体制を早く築き上げたい。
	PTA	<ul style="list-style-type: none"> PTA行事を通して学校と家庭の連携を密にする 	<ul style="list-style-type: none"> PTA行事を通して、保護者との連携を深めることができたか 	A	生徒が運営に参加し、生徒・保護者・職員の交流の場としてスポーツ大会を行うことができた。行事を通して、家庭・学校での生活など生徒の現状について情報交換ができた。	今後もPTA行事を通して職員と保護者の連携を深めていきたい。